※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「世界史探究　新世界史」（山川出版社）						
副教材等	「最新世界史図説タペストリー二十二訂版」（帝国書院） 「2027 実戦攻略大学入学共通テスト問題集　歴史総合・世界史探究」（実教出版） 「総合マスター世界史」（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史は、語句や年号の暗記で終わらせる科目ではありません。どんな歴史的出来事にも、その背景には色々な人々の営みがあります。教科書数行の出来事の裏に、なぜそのような事象が起こったのか、そしてそこにかかわる人々の選択や葛藤があることに思いを馳せながら、問題演習や探究活動を通じて理解を深めてください。

・勉強法の前提としてですが、入念な予習と、授業にしっかり集中して臨むことがまず肝心です。授業の内容をその時間でしっかり理解すれば、復習に多くの時間を割く必要はありません。その為にも、予習する時間を大事にしましょう。そのうえで、わからない部分があれば、担当者に質問してください。

・日々の復習の仕方ですが、どのような意図や狙いの授業・取り組みに参加していたか、自分はどんなことを考えていたかを思い出すようにしましょう。語句や説明を再暗記することに時間をかける傾向がありますが、自分の学び方を振り返り、改善していく時間にしましょう。

２　学習の到達目標

(1) 世界の歴史への興味・関心を高め、歴史総合で続けてきた地理的条件や日本の歴史の知識とも関連付けながら理解していきます。

(2) 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ判断力を身につけていきます。

また、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きるための歴史的思考力を培います。

(3) 歴史に関する資料を適切に調べてまとめ、資料に基づいて考察した結果を適切に表現したり、議論したりする力を身につけます。

(4)文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し、現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深めます。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、問題演習を通じて、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、問題演習を通じて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。 ・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論したりする力を培う。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、問題演習を通じて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする。
	・定期考査 ・小テスト ・要点ノートおよび板書ノート、プリント	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第Ⅰ部世界史へのまなざし	人類の歴史と私たち ①人類の歴史を地球の形成や生命の誕生という長い変化の過程に位置づけ、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性に気づく。 ②人類は自然環境に制約を受けながらも、進化の過程で環境に適応する手段や能力を獲得して生き残ってきたことを、地球物理学、生物学、人類学、考古学などの成果も取り入れて理解する。	a: 人類の歴史と地球上の生命の歴史の俯瞰、一方で人類は多くの道具や技術を生み出し、普及させてきたことを理解し、整理できる。 b: 人類の歴史は単線的ではなく、いくつかの可能性があったなかで、環境に適応できた種のみが生き残ってきたことを考察している。 C: 文明以前の人類の歴史を、歴史学以外の分野の理論や成果も活用しながら多面的に追究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・演習ノート	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第Ⅱ部　諸地域の歴史的特質の形成	古代文明の特質 アジア諸地域の国家と社会 西アジアの帝国と古代ギリシア 古代ローマ ヨーロッパの形成とイスラーム教の誕生 ①これらの時代の政治や社会の基礎的仕組みや考え方が、文化にどのように影響したかをふまえながら、文化史を中心に探究する ②引用資料や地図、図版を通し、古代には都市から国家が誕生し、都市国家が発展して中央集権的な、法にもとづいた、宗教を背景とした支配をおこなう帝国に発展することを理解する。	a：諸地域の古代文明・古代国家・古代帝国の出現、できごとについて年表や資料を適切に活用し、諸地域の多様性や形成された特質を理解する。 b：諸地域の古代帝国が、どのように他地域の人々を統治したのか、統治下ではどのような政治的・経済的、とくに文化的変化がおきたのかを考察している。 c：さまざまな古代帝国の強力な支配について、その問題点とその後の世界、他地域への影響を多面的に探究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・演習ノート	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り
2学期	第Ⅲ部　諸地域の交流・再編	結びつくユーラシアの諸地域 キリスト教ヨーロッパの成熟と交流 交易の進展と東アジア・東南アジア アジア諸地域の再編 ヨーロッパの成長と世界の一体化 ①これらの時代の政治や社会の基礎的仕組みや考え方が、文化にどのように影響したかをふまえながら、文化史を中心に探究する ②アジア産の奢侈品に対するヨーロッパの需要は、新大陸からもたらされた銀を媒介として活発な東西交易を引き起こしたことを理解する。	a：モンゴル帝国、オスマン朝、明、ティムール朝、サファヴィー朝、ムガル朝、清の存在を理解している。十字軍、コロンブスのアメリカ到達、東インド会社設立など東西交易のきっかけとなったできごとを理解する。 b：図を参照し、東西交易のルートには陸路と海路があったことや途中多くの地域を経由していたことを考察している。資料を参照し、ヨーロッパ側はアジア地域に対しどのような評価を与えていたかを考察している。 c：東西交易の円滑な運営についてモンゴル帝国がどのような役割を果たしたか追究しようとしている。アジアの奢侈品に対する需要とは具体的にどのようなものであったかを資料から探究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・演習ノート	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第Ⅳ部　諸地域の結合・変容	国民国家と近代民主主義社会の形成 新国家の建設と世界市場の形成 アジア諸地域の動揺 帝国主義と世界 第一次世界大戦 第二次世界大戦 ①18 世紀後半から 19 世紀末にかけての近代を、今日の社会の基本的枠組みを形作った時代として理解する。 ②これらの時代の政治や社会の基礎的仕組みや考え方が、文化にどのように影響したかをふまえながら、文化史を中心に探究する	a: ナショナリズムを土台とする国民国家を建設して産業革命をうながし、自由主義社会の創出をめざした動きを理解している。その一方で生み出された諸問題（植民地化など）を理解している。帝国主義、2 度の世界大戦、冷戦体制への流れを理解している。 b: 欧米の進出と圧迫のもとでの、アジアにおける近代化をめざす資料を活用し、考察している。地図を用いてヨーロッパ諸国の勢力伸張の理解のために適切に活用している。 c: 19 世紀後半の国際環境の実態を念頭において、20 世紀前半におこった帝国主義、2 度の世界大戦、冷戦体制の出現のそれぞれの時期における大衆化やグローバル化について探究しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・演習ノート	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り
3学期	第Ⅴ部　地球世界の課題	第三世界の形成と世界経済の動揺 今日の世界 ①第二次世界大戦終結以降のアジア・アフリカ諸国に生じた諸課題および冷戦について理解している。 ②これらの時代の政治や社会の基礎的仕組みや考え方が、文化にどのように影響したかをふまえながら、文化史を中心に探究する	a: アジア・アフリカ諸国が形成した第三世界であったが、不安定要素が山積していたことを理解する。1980 年代における米・ソの新冷戦，東欧の民主革命，マルタ会談からソ連崩壊への流れを理解する b: アジア・ラテンアメリカ諸国に開発独裁の政権が形成された背景について考察している。同時多発テロ以降の「テロとの戦い」が，世界的な問題になっている理由について考察している。 c: アジア・アフリカの諸地域や冷戦終結後の世界で生じたさまざまな課題について、資料を通じて探究しようとし、諸課題についての解決方法を模索しようとしている。	・定期考査 ・小テスト ・演習ノート	・定期考査 ・小テスト ・考察内容	・活動参加状況 ・自学自習課題 ・発表内容 ・振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度